



〈連載(275)〉

青函航路の新造フェリー
「ブルーマーメイド」



大阪府立大学大学院 海洋システム工学分野教授
池田 良穂

最近、内航フェリーの新造が相次いでおり、それを全て追いかけていると結構いそがしい。5月に仙台で造船・海洋関連の学会の講演会があったので、その後、青森まで足を延ばして、青函航路に就航した2隻の新造フェリーに会いに出かけた。

仙台までは、学会発表をする学生たちと共に、名古屋から太平洋フェリーのクルーズフェリー「いしかり」に乗船した。太平洋フェリーは、名古屋～仙台～苫小牧に定期的なフェリーサービスをしているが、かつては特に名古屋～仙台間の旅客需要が少なかった。そのため、フェリーにクルーズ客を呼び込むために「クルーズフェリー化」をして旅客需要の掘り起こしを行った。内装はクルーズ客船並みに豪華にし、食事のグレードもあげた。また、エンターティナーも乗船させて、航海中の楽しみの幅を広げた。

今回乗船した時にも、200名以上が乗船しており、パーサーの話では、名古屋～仙台の区間で平均的に200～300名の旅客が乗

船しているとのこと。名古屋からの航海では、夕食、朝食、昼食の3回をレストランで食べたが、レストラン内は結構込んでいて盛況だった。バイキング料理だが、その質がよく、かつリーズナブルな価格であるのが、その盛況ぶりの理由であろう。

仙台での学会では、筆者の研究室から7本の論文発表をすることができた。本コラムでも紹介したEEDI規制の問題点を指摘した論文、チップ船の風圧力に関する論文、粘性圧力抵抗の表示式として広く使われているモリソン式の問題点をCFD(コンピュータによる流体解析)を使って明らかにした論文などである。

この学会が終わった翌朝、始発の新幹線で新青森に向かった。仙台駅を出る時に、名物の牛タン弁当を購入して朝食とした。最近、駅弁を食べることもめったになくなったので新鮮な感覚だった。

新青森駅は、青森駅よりはフェリー埠頭に近いので、「ブルーマーメイド」が出港す

る10時には余裕をもって着くことができた。青森のフェリーターミナルは、東日本フェリーの超高速フェリー「ナッチャン」姉妹が就航した時に新しく建設された三角形のモダンな建物だ。その横に新造船「ブルーマーメイド」が着岸していた。

そして隣の岸壁には、同じ航路に就航している共栄運輸の新造船「はやぶさ」も停泊をしていた。2,949総トンとブルーマーメイドよりはひとまわり小型だが、なかなかどっしりとした安定感のある外観だ。同船は、筆者の故郷である室蘭の函館どつくの造船所で建造されている。学生時代に、夏休みにこの造船所で実習をさせていただいたことを懐かしく思い出した。



ブルーマーメイド



青森港に停泊する「はやぶさ」

出港の15分前から、3階のタラップからの乗船となった。筆者が購入した一番船首にあるビューシートと命名された指定席は、前方への窓に向かってゆったりとした椅子席が配置されており、前方から来る船がすべてキャッチできるという、筆者にとっては理想的な席だ。運賃は2750円。

これ以外にも、バストイレ付のツイン使用のスイート、4人定員のコンフォートという個室や、大部屋のスタンダード、レディールーム、ファミリールーム、愛犬と一緒に入れるドッグルーム、ドライバールーム等の多様な旅客スペースがある。総トン数は8,820トン、旅客定員583人、トラックは71台(または乗用車230台)が積載できる。

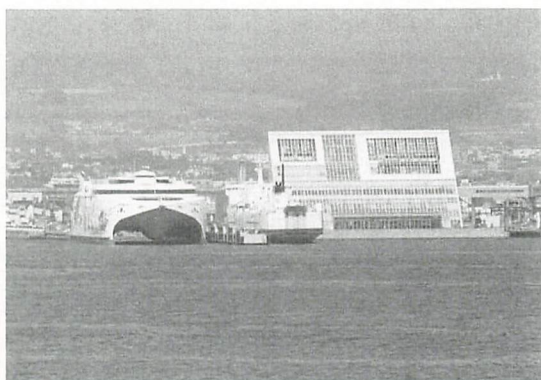
残念ながら「ブルーマーメイド」にはレストラン等の飲食サービスの施設はなく、小さな売店がある以外は、レトルト食品やカップ麺を自動販売機で購入して、備え付けの電子レンジ等で、自分で温めるスタイルとなっていた。

公室の内装はかなりシンプルだが、両舷にインサイドプロムナードがあり、そこに2人掛けのテーブルとイスが配置されているので、海を眺めながらの航海を楽しむことができるのは嬉しい。

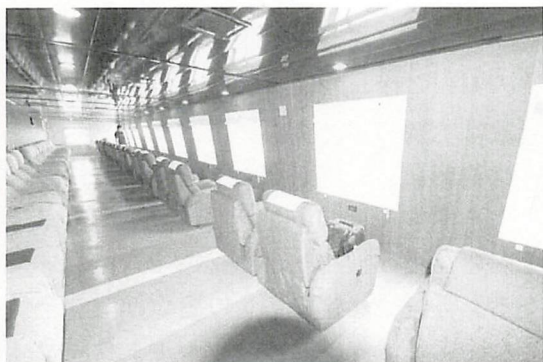
陸奥湾を出て津軽海峡に入ると、大小の貨物船と交差する。この海峡は、太平洋と、ロシア、中国、韓国とを繋ぐ主要航路の1つなのだ。このあたりにコンテナのトランシップ用のハブ港をつくれれば、日本海側のロシア、中国、韓国、そして日本の港へのフィーダーサービスが可能で、地方経済の活性化にも寄与できそうだ。

やがて函館山が見えてきて、3時間40分

の航海が終わり、函館に到着した。フェリーターミナルには「ナッチャンWorld」と「えさん2000」が着岸していた。「ナッチャンWorld」は、自衛隊にチャーターされて高速輸送船としての試験運用をされると聞いていたので、意外な再会であった。一般岸壁での車両の荷役ができるように、船尾に新設されたサイドランプの詳細を見ることができた。



函館のフェリーターミナルに停泊する「ナッチャンWorld」と「えさん2000」



ブリッジの直下にあるビューシート



「ナッチャンWorld」の左舷船尾に増設されたランプウェイ

全国海運組合連合会

会長 小比加 恒久

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル7階

TEL (03) 3288-8140 (代)

FAX (03) 3288-8144